

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

CD-UB10

USBアダプター

取扱説明書

目次 4ページ

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



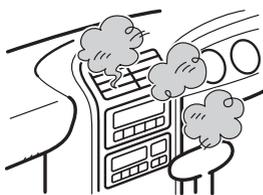
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

- 安全のために必ずお守りください
安全上のご注意
- | |
|---|
| 2 |
| 3 |

はじめに

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | ご使用になる前に | 5 |
| | ●本機について | |
| | ●WMAについて | |
| | ●MP3について | |
| | ●AACについて | |
| | ●USBポータブルオーディオプレーヤー/
USBメモリー使用時のご注意 | |
| 2 | 本機のリセットについて | 7 |
| 3 | USBポータブルオーディオプレーヤー/
USBメモリーの接続 | 7 |

エクスターナル ユニット エクスターナル ユニット として操作する

- | | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 対応メインユニット一覧 | 8 |
| 2 | 機能対応表 | 10 |
| 3 | 繰り返し再生する | 21 |
| 4 | 違う曲順で再生する | 21 |
| 5 | 聞きたい曲やフォルダーをさがす | 22 |
| 6 | タイトル表示を切り換える | 22 |

接続・取付 動作確認

接続・取付けと動作確認

- | | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 接続・取付け部品を確認する | 24 |
| 2 | 接続の前に知ってほしいこと | 24 |
| | ●接続上のご注意 | |
| | ●コネクターの着脱のしかた | |
| | ●接続のポイント | |
| 3 | 接続する | 25 |
| 4 | 取付けの前に知ってほしいこと | 26 |
| | ●取付け上のご注意 | |
| | ●取付けのポイント | |
| 5 | 本機を取り付ける | 26 |
| 6 | 動作を確認する | 27 |

付録

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 使用できるUSBポータブルオーディオ
プレーヤー/USBメモリーについて | 28 |
| 2 | 対応する圧縮オーディオについて | 28 |
| | ●圧縮オーディオ一般について | |
| | ●USBメモリー内のフォルダーと
圧縮オーディオについて | |
| | ●WMAとは？ | |
| | ●再生できるWMAファイルについて | |
| | ●MP3とは？ | |
| | ●再生できるMP3ファイルについて | |
| | ●AACとは？ | |
| | ●再生できるAACファイルについて | |
| 3 | 故障かな？と思ったら | 31 |
| 4 | こんなメッセージが表示されたら | 32 |
| 5 | 保証書とアフターサービス | 33 |
| 6 | おもな仕様 | 34 |

本機について

本機は、IP-BUS入力を備えたパイオニア製メインユニット用のUSBアダプターです。圧縮オーディオを収録・保存した、USB Mass Storage Class対応のポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリーを接続して、メインユニットから再生できます。

- 本機は、車室内での使用に限定して設計されています。
- 対応するUSB機器について詳しくは、28ページをご覧ください。
- 本機が対応する圧縮オーディオの形式は、WMA/MP3/AACです。詳しくは、28～30ページをご覧ください。

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

AACについて

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、Ver. 6.05以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunesで作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

USBポータブルオーディオプレーヤー/ USBメモリー使用時のご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーは必ず固定してください。USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーの取り扱いについては、それぞれの説明書をお読みください。

本機のリセット について

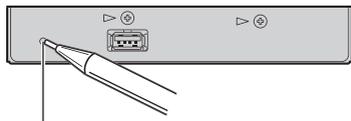
本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わったあと
- 本機が正しく動作しないとき
- ディスプレイが正しく表示されないとき

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す。



リセットボタン

USBポータブルオーディオ プレーヤー/USBメモリーの接続

1 本機に接続する

USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーをUSB入力に接続する。USB入力については、「接続する」（25ページ）をご覧ください。

USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーは、曲を聞くのをやめたいときにいつでも本機から取り外すことができます。



ご注意

- 「使用できるUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーについて」（28ページ）を参照して、対応するUSB機器をご使用ください。ただし、対応するUSB機器でも正しく動作しない場合があります。



知っている则便利

- USBポータブルオーディオプレーヤーにバッテリーの充電機能がある場合、エンジンスイッチがACCまたはONになっているときにバッテリーが充電されます。



対応メインユニット一覧

2006年11月時点での接続可能なメインユニットの一覧です。型番右側の()内の数は、そのメインユニットに接続可能なエクスターナルユニットの台数を表しています。

メインユニット1:	FH-P909MD (1)	MEH-P717 (2)	FH-P90 (1)
AVIC-VH009MD (2)	FH-P900MD (1)	MEH-P707 (1)	FH-P80M (1)
AVIC-VH009 (2)	FH-P888MD (2)	MEH-P555 (1)	FH-P80 (1)
AVIC-ZH990MD (2)	FH-P818MDR (2)	MEH-P515 (1)	KEH-P880 (1)
AVIC-ZH990 (2)	FH-P777MDR (2)	MEH-P510Ⅱ (1)	KEH-P770 (1)
AVIC-ZH900MD (2)	FH-P717MD (2)	MEH-P510 (1)	KEH-P440 (1)
AVIC-ZH900 (2)	FH-P710MD (2)	MEH-P077 (2)	KEH-P330 (1)
AVIC-ZH009 (2)	FH-P707MD (1)	MEH-P070 (2)	
AVH-P90DVA (2)	FH-P700 (1)	MEH-P055 (1)	メインユニット8:
AVM-P7000 (1)	FH-P666MD (2)	MEH-P050 (1)	AVM-P100 (1)
DEH-P9900 (1)	FH-P616MD (2)	MEH-P007 (2)	
DEH-P9000 (1)	FH-P606 (1)	MEH-P005 (1)	メインユニット9:
DEH-P7700 (2)	FH-P555MD (2)		AVIC-XA1 (1)
DEH-P7000 (1)	FH-P520MD (2)	メインユニット2:	
DEH-P5000 (1)	FH-P515MD (2)	DEH-P910 (2)	メインユニット10:
DEH-P3300 (1)	FH-P510MD (2)	DEH-P810 (2)	DEH-P99 (1)
DEH-P999HDD (2)	FH-P505MD (1)	DEH-P710 (2)	DEX-P7 (1)
DEH-P999 (2)	FH-P444 (2)	DEH-P099 (2)	KEH-P88 (1)
DEH-P919 (2)	FH-P414 (2)	DEH-P070 (2)	KEH-P77 (1)
DEH-P900 (1)	FH-P404 (1)		
DEH-P777 (2)	FH-P99MDR (2)	メインユニット3:	メインユニット11:
DEH-P717 (2)	FH-P88MD (2)	AVH-P9DVAⅡ (2)	KEH-P55 (1)
DEH-P707 (1)	FH-P77MDR (2)	AVH-P9DVA (2)	KEH-P44 (1)
DEH-P700 (1)	FH-P66MD (2)		KEH-P33 (1)
DEH-P555 (1)	FH-P55MD (1)	メインユニット4:	メインユニット12:
DEH-P520 (2)	FH-P44 (1)	AVIC-DRZ99 (2)	DEH-P80 (1)
DEH-P515 (1)	FH-P099MD (2)	AVIC-DRZ90K (2)	DEH-P75 (1)
DEH-P510 (2)	FH-P077MD (2)	AVIC-DRZ90 (2)	KEH-P60 (1)
DEH-P505 (1)	FH-P055MD (2)	AVIC-DRZ80 (2)	KEH-P50 (1)
DEH-P500 (1)	FH-P050MD (2)	AVIC-DRZ09 (2)	KEH-P45 (1)
DEH-P088 (2)	FH-P040 (2)	AVIC-HRZ99 (2)	KEH-P40 (1)
DEH-P077 (2)	FH-P009MD (2)	AVIC-HRZ88 (2)	
DEH-P055 (2)	FH-P007MD (2)	AVIC-HRZ09K (2)	メインユニット13:
DEH-P050 (2)	FH-P005MD (2)	AVIC-HRZ09 (2)	KEH-P555 (1)
DEH-P007 (2)	FH-P003MD (2)	AVIC-HRZ08 (2)	
DEH-P005 (2)	KEH-P5000 (1)	メインユニット5:	メインユニット14:
DEX-P1 (1)	KEH-P600 (1)	AVH-P7DV (2)	AVM-P9 (2)
DVH-P717 (2)	KEH-P400 (1)	AVX-P9DV*1 (2)	
DVH-P077Ⅱ (2)	KEH-P303 (1)	AVX-P7*1 (2)	メインユニット15:
DVH-P077 (2)	KEH-P300 (1)	*1 MASTERモード (M) 使用時に限る	AXM-P9+DEQ-P9 (2)
DVH-P007 (2)	MEH-P9900 (1)		AXM-P7+DEQ-P7 (2)
FH-P9900MD (1)	MEH-P9000CD (1)		
FH-P9000MD (1)	MEH-P9000 (1)	メインユニット6:	メインユニット16:
FH-P8800 (1)	MEH-P7700 (2)	KEH-P1000 (1)	DEH-P7 (2)
FH-P7000MD (1)	MEH-P5500 (1)		
FH-P6000 (1)	MEH-P5000 (1)	メインユニット7:	メインユニット17:
FH-P5000MD (1)	MEH-P999 (2)	DEH-P990 (1)	DEX-P01Ⅱ (2)
FH-P4000 (1)	MEH-P919 (2)	DEH-P660 (1)	DEX-P01 (2)
FH-P999MDR (2)	MEH-P800 (1)	DEH-P550 (1)	RS-D7xⅢ (2)
FH-P919MDR (2)	MEH-P777 (2)	DEX-P9 (1)	RS-D7xⅡ (2)
			RS-D7x (2)

メインユニット18：

AVIC-XC520 (1)
AVIC-XC510 (1)
AVIC-XM520 (1)
AVIC-XM510 (1)

メインユニット19：

AVM-P909MD (1)

メインユニット20：

RS-D2x (1)
RS-K1x (1)

メインユニット1

操作	
ソースをUSBにする ^{*1}	SOURCE (ソース、SO、SRC) ボタンを押す (SOURCEセレクトターを操作する)
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BAND (BAND/ESC、◀▶) ボタンを2秒以上押す (セレクトターを押す)
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*2}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*3}	◀または▶ボタンを押し続ける
ファンクションモードを選ぶ	FUNCTION (FUNC、F) ボタンを押す
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) で、▲または▼ボタンを押す
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、▲または▼ボタンを押す
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、▲または▼ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) で、▲または▼ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、▲または▼ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、▲または▼ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、◀または▶ボタンを押す

^{*1} SOURCE (ソース、SO、SRC) ボタンがないメインユニットでは、本体のMDボタンで操作できます。(リモコンのMDボタンでは、操作できません。)

^{*2} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*3} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 「FH-P077MD」、「FH-P055MD」、「FH-P005MD」、「FH-P003MD」の場合、表中の▲/▼/◀/▶ボタンの操作を参考に、セレクトターを上下左右に操作してください。
- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット2

操作	
ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	ロータリーコマンドを上下に操作する
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	ロータリーコマンドを左右に操作する
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	ロータリーコマンドを左右に操作し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ロータリーコマンドを操作する
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) で、ロータリーコマンドを押す
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、ロータリーコマンドを押す
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、ロータリーコマンドを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) で、ロータリーコマンドを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、ロータリーコマンドを押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、ロータリーコマンドを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、ロータリーコマンドを押す

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット3

操作	
ソースをUSBにする	ソース (SRC) ボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BAND/ESCボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	ジョイスティックを上下に操作する
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	ジョイスティックを左右に操作する
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	ジョイスティックを左右に操作し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ジョイスティックを操作する
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNCTION1) で、ジョイスティックを上下に操作する
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNCTION2) で、ジョイスティックを上下に操作する
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNCTION2) で、ジョイスティックを上下に2秒以上操作する
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNCTION3) で、ジョイスティックを上下に操作する
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNCTION4) で、ジョイスティックを上下に操作する
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNCTION4) で、ジョイスティックを上下に2秒以上操作する
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL) で、ジョイスティックを左右に操作する

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

機能対応表 (つづき)

メインユニット4

操作	
ソースをUSBにする	AVボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	バンドに2秒以上タッチする
フォルダーを選ぶ	↑または↓にタッチする
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	←または→にタッチする
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	←または→にタッチし続ける
ファンクションモードを選ぶ	ファンクションにタッチする
曲を一時停止する	ファンクション1にタッチする
表示を切り換える	ファンクション2にタッチする
タイトルをスクロールする	ファンクション2に2秒以上タッチする
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3にタッチする
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4にタッチする
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4に2秒以上タッチする
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルにタッチする

^{*1} オート/マニュアルで「オート」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルで「マニュアル」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット5

操作	
ソースをUSBにする	ソース (SRC) ボタンを押す。AVソース (AV-SRC) ボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDに2秒以上タッチする
フォルダーを選ぶ	▲または▼にタッチする
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶にタッチする
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	◀または▶にタッチし続ける
ファンクションモードを選ぶ	A.MENUボタンを押して、FUNCにタッチする
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNC1) で、▲▼にタッチする
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNC2) で、▲▼にタッチする
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNC2) で、▲▼に2秒以上タッチする
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNC3) で、▲▼にタッチする
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNC4) で、▲▼にタッチする
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNC4) で、▲▼に2秒以上タッチする
AUTOとMANUALを切り換える ^{*3}	AUTO/MNL (オート/マニュアルモード) にタッチする

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*3} 「AVX-P9DV」および「AVX-P7」では、オート/マニュアルモード (AUTO/MANU) で◀/▶にタッチして切り換えます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット6

メインユニット6では、次の機能は操作できません。

- 表示の切り換え
- タイトルスクロール
- スキャン再生のON/OFF
- リピート再生範囲の選択
- ランダム再生のON/OFF

操作	
ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BAND/ESC (B) ボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀または▶ボタンを押し続ける
曲を一時停止する	Dボタンを押す
AUTOとMANUALを切り換える	RPTボタンを押す

^{*1} RPTボタンを押すごとに、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット7

メインユニット7では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作	
ソースをUSBにする ^{*1}	SOURCE (SO) ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*2}	◀(◀◀) または▶(▶▶) ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	◀または▶ボタンを押し続ける
曲を一時停止する	Fボタンを押す
表示を切り換える	Gボタンを押す
タイトルをスクロールする	Gボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	Hボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	Iボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	Iボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	Jボタンを2秒以上押す

^{*1} SOURCE (SO) ボタンがないメインユニットでは、本体のテープボタンで操作できます。(リモコンのテープボタンでは、操作できません。)

^{*2} Jボタンを2秒以上押すごとに、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

機能対応表 (つづき)

メインユニット8

メインユニット8では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作

ソースをUSBにする	AUDIO SOURCE (SO) ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀◀または▶▶ ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀◀または▶▶ ボタンを押し続ける
ソースメニューを表示する	MENUボタンを押す
曲を一時停止する	ソースメニューを表示しているときに、1ボタンを押す
表示を切り換える	ソースメニューを表示しているときに、2ボタンを押す
タイトルをスクロールする	ソースメニューを表示しているときに、2ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ソースメニューを表示しているときに、4ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	ソースメニューを表示しているときに、4ボタンを2秒以上押す
リピート再生範囲を選ぶ	ソースメニューを表示しているときに、5ボタンを押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースメニューを表示しているときに、3ボタンを押す

- *1 3ボタンを押すごと (ソースメニュー表示中) に、◀◀/▶▶ ボタンの機能が切り換わります。
● 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット9

メインユニット9では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択
- 曲の早送り/早戻し

操作

ソースをUSBにする	AVソースボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する	◀◀または▶▶ ボタンを押す
曲を一時停止する	CRボタンを押す
表示を切り換える	Aボタンを押す
タイトルをスクロールする	Aボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	Bボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	Cボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	Cボタンを2秒以上押す

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット10

メインユニット10では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作

ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀◀または▶▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀◀または▶▶ボタンを押し続ける
曲を一時停止する	7ボタンを押す
表示を切り換える	8ボタンを押す
タイトルをスクロールする	8ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	9ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	10ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	10ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	12ボタンを2秒以上押す

^{*1} 12ボタンを2秒以上押すごとに、◀◀/▶▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット11

メインユニット11では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択
- 曲の早送り/早戻し

操作

ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する	◀(◀◀) または▶(▶▶) ボタンを押す
曲を一時停止する	7ボタンを押す
表示を切り換える	8ボタンを押す
タイトルをスクロールする	8ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	9ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	10ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	10ボタンを2秒以上押す

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

機能対応表 (つづき)

メインユニット12

メインユニット12では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作

ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀または▶ボタンを押し続ける
曲を一時停止する	7ボタンを押す
表示を切り換える	8ボタンを押す
タイトルをスクロールする	8ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	9ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	10ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	10ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	◀と▶ボタンを同時に押す

*1 ◀と▶ボタンを同時に押すごとに、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット13

メインユニット13では、次の機能は操作できません。

- 曲の早送り/早戻し
- 曲の一時停止
- 表示の切り換え
- タイトルスクロール
- スキャン再生のON/OFF
- リピート再生範囲の選択
- ランダム再生のON/OFF

操作

ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する	◀または▶ボタンを押す

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット14

操作	
ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	◀または▶ボタンを押し続ける
機能メニューを選ぶ	MENUボタンを押してから、ジョイスティックを操作する
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNC 1) で、ジョイスティックを押す
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNC 2) で、ジョイスティックを押す
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNC 2) で、ジョイスティックを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNC 3) で、ジョイスティックを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNC 4) で、ジョイスティックを押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNC 4) で、ジョイスティックを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL) で、ジョイスティックを押す

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット15

USBソースを操作するときは、リモコンの操作モードを「DEQモード」に切り換えます。

操作	
ソースをUSBにする	 (SOURCE) ボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	 (BAND/ESC) ボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	 (▲) または  (▼) ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	 (◀) または  (▶) ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	 (◀) または  (▶) ボタンを押し続ける
ファンクションモードを選ぶ	 (FUNCTION) ボタンを押す
曲を一時停止する	ファンクション1モード (F1) で、  (▲) または  (▼) ボタンを押す
表示を切り換える	ファンクション2モード (F2) で、  (▲) または  (▼) ボタンを押す
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (F2) で、  (▲) または  (▼) ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (F3) で、  (▲) または  (▼) ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (F4) で、  (▲) または  (▼) ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (F4) で、  (▲) または  (▼) ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (A/M) で、  (◀) または  (▶) ボタンを押す

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

機能対応表 (つづき)

メインユニット16

操作	
ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	ロータリーセクターを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	ロータリーセクターを回す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*2}	ロータリーセクターを回し続ける
ファンクションモードを選ぶ	FUNCTIONボタンを押す
曲を一時停止する	ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) で、ロータリーセクターを押す
表示を切り換える	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、ロータリーセクターを押す
タイトルをスクロールする	ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) で、ロータリーセクターを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) で、ロータリーセクターを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、ロータリーセクターを押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) で、ロータリーセクターを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、ロータリーセクターを回す

^{*1} オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

^{*2} オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット17

操作	
ソースをUSBにする	SOURCE (AUX) ボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀または▶ボタンを押し続ける
機能メニュー画面を表示する	リモコンのカバーを開ける
曲を一時停止する	ファンクションボタン/1を押す
表示を切り換える	ファンクションボタン/2を押す
タイトルをスクロールする	ファンクションボタン/2を2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ファンクションボタン/3を押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクションボタン/4を押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクションボタン/4を2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ファンクションボタン/5を押す

^{*1} ファンクションボタン/5を押すごとに、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット18

メインユニット18では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作	
ソースをUSBにする	MD (TAPE、ソース) ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀◀または▶▶ボタンを押し続ける
ボタンの機能名を表示する	FUNCボタンを押す
曲を一時停止する	F1ボタンを押す
表示を切り換える	F2ボタンを押す
タイトルをスクロールする	F2ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	F3ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	F4ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	F4ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	AUTO/MANUボタンを押す

- ^{*1} AUTO/MANUボタンを押すごとに、◀◀/▶▶ボタンの機能が切り換わります。
- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

メインユニット19

操作	
ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
フォルダー01 (ROOT) に戻る	BANDボタンを2秒以上押す
フォルダーを選ぶ	▲または▼ボタンを押す (製品本体の▲/▼ボタンでは、操作できません)
前の曲または次の曲を再生する ^{*1}	◀または▶ボタンを押す (製品本体では、▲/▼ボタン)
曲の早送りまたは早戻しをする ^{*1}	◀◀または▶▶ボタンを押し続ける (製品本体では、▲/▼ボタン)
ソースメニューに切り換える	MENUボタンを押す
曲を一時停止する	ソースメニューを表示しているときに、1ボタンを押す
表示を切り換える	ソースメニューを表示しているときに、2ボタンを押す
タイトルをスクロールする	ソースメニューを表示しているときに、2ボタンを2秒以上押す
スキャン再生をON/OFFする	ソースメニューを表示しているときに、3ボタンを押す
リピート再生範囲を選ぶ	ソースメニューを表示しているときに、4ボタンを押す
ランダム再生をON/OFFする	ソースメニューを表示しているときに、4ボタンを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースメニューを表示しているときに、5ボタンを押す

- ^{*1} 5ボタンを押すごと (ソースメニュー表示中) に、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。
- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBソースの操作には使用しません。

機能対応表 (つづき)

メインユニット20

メインユニット20では、次の機能は操作できません。

- フォルダー01 (ROOT) に戻る
- フォルダーの選択

操作

ソースをUSBにする	SOURCEボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する*1	◀または▶ボタンを押す
曲の早送りまたは早戻しをする*1	◀または▶ボタンを押し続ける
ファンクションボタンの機能表示にする	システムコミュニケーターのカバーを開け、SHIFTボタンを押す
曲を一時停止する	ファンクションボタン/1を押す
表示を切り換える	ファンクションボタン/2を押す
タイトルをスクロールする	ファンクションボタン/2を2秒以上押す
スキップ再生をON/OFFする	ファンクションボタン/3を押す
リピート再生範囲を選ぶ	ファンクションボタン/4を押す
ランダム再生をON/OFFする	ファンクションボタン/4を2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ファンクションボタン/6を押す

*1 ファンクションボタン/6を押すごとに、◀/▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、USBの操作には使用しません。

繰り返し再生する

リピート

曲を繰り返し（リピート）再生できます。

1 リピート再生範囲を選ぶ

操作方法については、「機能対応表」（10～20ページ）をご覧ください。

選べる範囲は次のとおりです。

TRK：再生中の曲

FLD：再生中のフォルダー

ALL：すべての曲



ご注意

- 再生範囲がFLDのときは、再生中のフォルダー内の圧縮オーディオだけが再生されます。サブフォルダー内の圧縮オーディオは再生されません。

違う曲順で再生する

ランダム

曲を順不同（ランダム）に再生できます。ランダム再生の種類は、リピート再生範囲の選択で設定できます。

1 リピート再生範囲を選んでおく

「機能対応表」（10～20ページ）を参照して、選んでください。

選べる範囲は次のとおりです。

FLD：選択中のフォルダー内の曲をランダムに再生

ALL：すべての曲をランダムに再生



ご注意

- リピート再生範囲がTRKのときにランダム再生をONにすると、FLDに切り換わってランダムに再生されます。

2 ランダム再生をONにする

操作方法については、「機能対応表」（10～20ページ）をご覧ください。

エクスターナル
ユニット
5

聞きたい曲や フォルダーをさがす スキャン

曲やフォルダーのはじめの部分だけを、約10秒ずつ次々に聞くことができます。聞きたい曲を探すときに便利です。スキャン再生の種類は、リピート再生範囲の選択で設定できます。

1 スキャン再生をする範囲を選んでおく

「機能対応表」(10～20ページ)を参照して、選んでください。

選べる範囲は次のとおりです。

FLD：再生中のフォルダーの全曲を約10秒ずつ再生

ALL：全フォルダーの1曲目だけを約10秒ずつ再生



ご注意

- リピート再生範囲がTRKのときにスキャン再生をONにすると、FLDに切り換わってスキャン再生が始まります。

2 スキャン再生をONにする

操作方法については、「機能対応表」(10～20ページ)をご覧ください。

曲のはじめの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

3 聞きたい曲が再生されたら、スキャン再生をOFFにする

操作方法については、「機能対応表」(10～20ページ)をご覧ください。



ご注意

- スキャン再生を始めた曲(フォルダー)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

エクスターナル
ユニット
6

タイトル表示を 切り換える

圧縮オーディオに記録されているタイトルなどを表示できます。また、隠れている文字をスクロールできます。



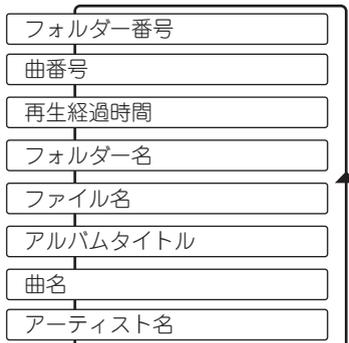
ご注意

- 表示できる文字の種類は、半角英数字だけです。
- 一度に表示できるのは、8文字までです。

1 表示する情報を選ぶ

操作方法については、「機能対応表」(10～20ページ)をご覧ください。

表示される情報が次の順番で切り換わります。



ご注意

- 隠れている文字を表示する方法については、「機能対応表」(10～20ページ)をご覧ください。
- 圧縮オーディオによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

接続・取付
動作確認
1

接続・取り付け部品を確認する



本機 × 1



IP-BUSケーブル
(3 m) × 1



電源コード × 1



USBケーブル
(1.5 m) × 1



マジックテープ
(かたい方) × 2



マジックテープ
(やわらかい方) × 2

接続・取付
動作確認
2

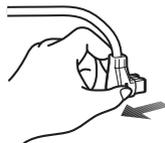
接続の前に 知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

コネクタの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続のポイント

IP-BUSの接続について

- IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

ノイズ防止のために

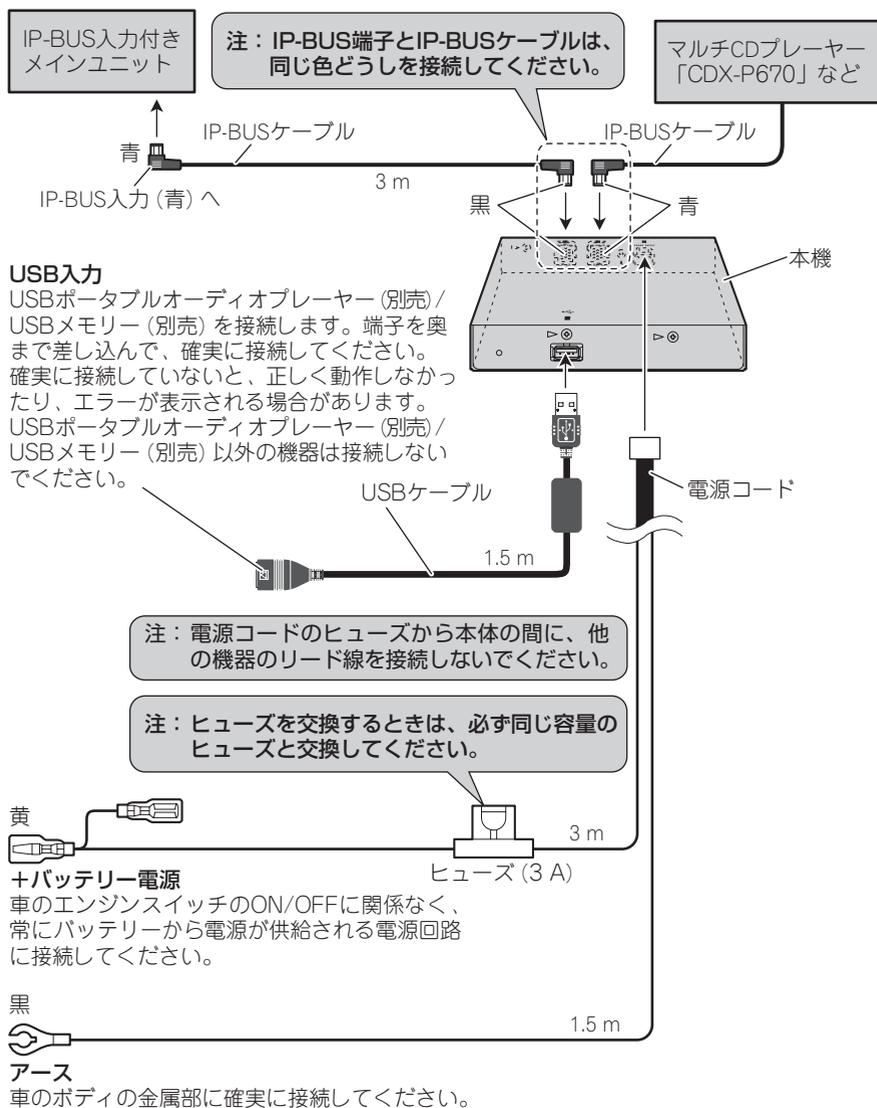
- アンテナコードは、ほかのコード/ケーブルからできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

接続する

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



注：黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

接続・取付け
動作確認
4

取り付けの前に 知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付けキットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - ・ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
 - ・ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかけやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

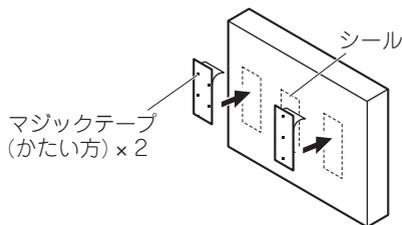
- マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

接続・取付け
動作確認
5

本機を取り付ける

1 マジックテープ（かたい方）を 本機の底面に貼り付ける

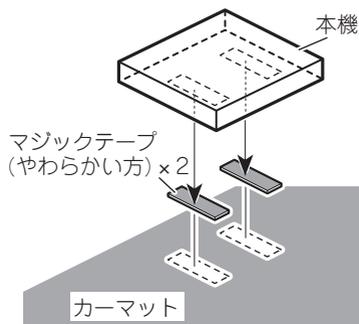
マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



確認

- シールには、製品の型名、シリアル番号が記載されています。マジックテープを貼るときは、シールを隠さないように貼り付けてください。

2 マジックテープ（やわらかい方） を取り付け場所に貼り付ける



知っている则便利

- マジックテープ（かたい方）がカーマットに貼りつく場合は、カーマットに直接取り付けることもできます。この場合、マジックテープ（やわらかい方）は使用しません。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する

使用できるUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーについて

- 規格：USB 2.0 Full Speed
- 供給電流：500 mA
- USBクラス：MSC (Mass Storage Class) デバイス
- プロトコル：バルク
- 最大メモリー容量：250 GB
- ファイルシステム：FAT 12、FAT 16、FAT 32



ご注意

- パーティションを作ったUSBメモリーは使用できません。
- 使用するUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーの種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USBハブを介して、USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを接続することはできません。

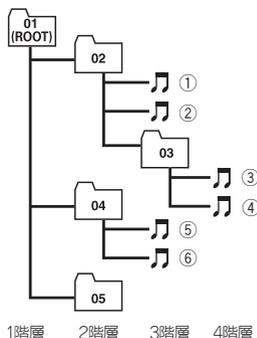
対応する圧縮オーディオについて

圧縮オーディオ一般について

- 再生できる圧縮オーディオの合計は最大15 000個です。
- 再生できるフォルダーの合計は最大500個です。
- USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリー内に多くのフォルダーの階層がある場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(wma、mp3、m4a)を含めて半角で64文字です。ただし文字コードの種類によって、最大表示文字数は半角で32文字になる場合があります。
- 圧縮オーディオによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

USBメモリー内のフォルダーと圧縮オーディオについて

- USBメモリー内のフォルダーと圧縮オーディオの構成は、下図のようになります。USBポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01～05はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。

- 圧縮オーディオ/フォルダーの再生やスキャン再生での選択の順番は、次の条件で決まります。

- ・ 同一フォルダー内では、圧縮オーディオのほうがサブフォルダーより順番が先になる
- ・ 同一フォルダー内では、パソコン上で圧縮オーディオ/サブフォルダーをUSBメモリーにコピーした順番と同じになる

ただし、再生やスキャン再生での選択の順番は、パソコンの設定や環境によって変わることがあります。

また、パソコン上で複数の圧縮オーディオ/フォルダーを一度にコピーした場合、再生やスキャン再生での選択の順番は予想と異なることがあります。

- 再生の順番を指定したいときは、左ページの図を参考にして、圧縮オーディオをパソコンからUSBメモリーにコピーしてください。

- ・ 「001xxxx.mp3」や「099yyyyy.wma」などといったように、順番を示す数字をファイル名の先頭に付けることを推奨します。

WMAとは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードすることができます。

ご注意

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

ご注意

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver. 7/7.1/8/9/10を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32 kHz~48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR(固定ビットレート)の5 kbps~384 kbpsまたはVBR(可変ビットレート)で記録されたWMAファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたWMAファイルの使用を推奨します。
- USBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリーに、Windows Media DRM 9/10で保護されたファイルを収録して再生したときは、“DRM SKIP”と表示されます。そのファイルの再生はスキップされます。
- USBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリー内のすべてのファイルがWindows Media DRM 9/10で保護されている場合は、“PROTECT”と表示されません。すべてのファイルが再生されません。

対応する 圧縮オーディオについて (つづき)

- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて



ご注意

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。
- ID3 tagのVer. 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- サンプリング周波数が32 kHz～48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。(なお、再生可能なサンプリング周波数は8kHz～48kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR(固定ビットレート)の8 kbps～320 kbpsまたはVBR(可変ビットレート)で記録されたMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルの使用を推奨します。

AACとは？

- 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて



ご注意

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機では、Ver. 6.05以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、8 kHz～48 kHzです。
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、16 kbps～320 kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いステレオビットレートで記録されたAACファイルの使用を推奨します。
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲(拡張子は.m4p)は、USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーに記録して再生することはできません。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Apple ロスレス・エンコーダ

故障かな?と思ったら

**故障かな?と
と思ったら**

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

**チェックしても
直らないときは**

本機をリセットしてください(7ページ)。

**それでも
直らないときは**

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	処置
「N/A USB」	接続されたUSB機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class対応のポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリーを接続してください。 (28ページ)
「CHK USB」	USBコネクターまたはUSBケーブルがショートした。 規定(28ページ、34ページ)以上の電流を消費するUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを接続した。	USBコネクター/USBケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。 接続したUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。次に、対応するUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていないUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを接続した。 セキュリティー機能付きのUSBメモリーを接続した。	対応する音楽ファイルが収録・保存されたUSBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを接続してください。 USBメモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
「DRM SKIP」	Windows Media DRM 9/10で保護されたWMAファイルをUSBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリーに収録・保存して再生した。	Windows Media DRM 9/10で保護されていない音楽ファイルを再生してください。
「PROTECT」	USBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリー内のすべてのWMAファイルがWindows Media DRM 9/10で保護されている。	Windows Media DRM 9/10で保護されていない圧縮オーディオを収録・保存して再生してください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

共通部

使用電源：	DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
最大消費電流：	2.0 A
外形寸法：	(取付寸法)： 146 (W) × 24 (H) × 90 (D) mm
質量：	0.32 kg (コード含まず)

オーディオ部

S/N比：	95 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク)
ダイナミックレンジ：	95 dB (1 kHz)
チャンネルセパレーション：	90 dB (1 kHz)
チャンネル数：	2 (ステレオ)

USB部

USB規格：	USB 2.0 Full Speed
最大供給電流：	500 mA
最大メモリー容量：	250 GB
ファイルシステム：	FAT12、FAT16、FAT32
最大ファイル数：	15 000
最大フォルダー数：	500
デコーダー仕様：	
MP3 対応形式	MPEG-1, 2 & 2.5 AUDIO LAYER-3
WMA 対応形式	Ver. 7、7.1、8、9、10 (2 ch audio) (Windows Media Player)
AAC 対応形式	MPEG-4 AAC (iTunesでエンコードされたもののみ)

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

© パイオニア株式会社 2006

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KMIZX > < 06K00000 > < CRA3961-B/N >